

- 本事業は、高知県の取組である「高知の未来観光」にて導入実績のあるボディシェアリングロボット(NIN_NIN)を活用した、通訳の帯同しないFITや小グループツアー向けのリモート通訳、現地旅行者の視点で疑似体験することのできるオンラインツアーを実施し、外国人目線による受入環境に関する検証事業である。

課題

- ・ガイド人材面
外国人旅行者に現地スタッフが多言語でガイドするにあたり、地域に通訳する人材が不足している。
- ・情報発信面
訪日旅行は消費型観光から体験型観光へとニーズが変化しているが、写真記事など通常の情報発信ではその魅力が伝わりにくい。

活用する先進的技術

ボディシェアリングロボット「NIN_NIN」

身体機能を他人にシェアすることをコンセプトとしたロボットであり、視線移動やリアクションなどの操作も可能



実施内容

① リモート通訳によるモニターツアーの実施

日本語でガイドをしているが多言語対応が出来ていないコンテンツについて、NIN_NINを使用した遠隔地からの通訳対応によるツアーの実施。

被招請者：FIT旅行を扱う旅行会社・ランドオペレーター
対象市場：香港・台湾・米豪



遠隔地の通訳者が見ている映像



遠隔地で
対応する通訳



NIN_NINを装着した
被招請者
現地の
日本語ガイド

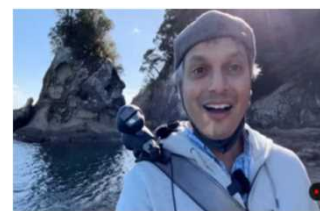
② 旅行者目線で現地の観光コンテンツを体験できるオンラインツアー

NIN_NINを通して旅行者目線で体験することができるオンラインツアーを実施。

被招請者（現地旅行者）：海外に発信を行っているインフルエンサー
対象市場：台湾・米豪
オンラインツアー体験者：実施内容①の被招請者



NIN_NINを利用した
オンラインツアーの映像



NIN_NINを装着した被招請者



被招請者のSNSでも合わせて
ライブ配信を実施

実施結果

成果

- ・現地に通訳者が訪れる必要がないため、人材不足に関する課題を解決することが可能
- ・現地旅行者と会話をしつつ映像を見ながら細かな情報を得ることが出来るため、リモートによるガイドの精度が上がる
- ・現地ガイド側が自然に対応することが出来る

課題

- ・通信環境に左右されるため、実施場所が限定される
- ・NIN_NINの音声小さく、状況によっては聞き取ることが難しい
- ・NIN_NIN側の映像の画質がスマートフォン等に比べると良くない
- ・リモート通訳について経験がない日本語の現地ガイドの場合、通訳者とコミュニケーションをとることが難しい